

和の光



宝塚市立西谷中学校

ある中学生の詩「わたし」

筒井 啓介

面倒くさいことは人に任せます。何でも人に頼ります。
都合が悪くなるとすぐに泣きます。泣けば許してもらえます。
嘘もいっぱいつきます。嘘をついたまま友達としゃべっています。

いい人だと思われるために、思ってもいないことを言っています。
何を言っても誰も気づきません。

すごく楽です。泣けば許してもらえし、
嘘をついても気づかれないから便利です。

でも、本当の性格が知られたら、友だちがいなくなります。
人をだましているのは、簡単だけどこわいです。

この詩は、もう何十年も前のものですが、とても感性豊かな中学生が書いたものです。皆さんは読んでみてどのような感想を持ちましたか？

思春期には、親や友人との関係、勉強のことなど、誰もが何らかの悩みを抱えることと思います。幼いころは親や周りの大人に守られながら生活してきましたが、成長するにつれて「自我」が芽生え、自分は自分、他の人とは違う、といった意識を強く持つようになります。つまり、親から自立し、大人へと成長している証なのです。

さて、このような中、皆さんは本当の自分を出して仲間と接することができるでしょうか？つまり、自分を飾らずに本音を仲間につけることができるかということです。皆さんの中にも、他人に悪く思われたくないから本音を語らない、周りの人に合わせておく、といった人がいるかも知れません。しかし、思春期における友達づくりは大切なものです。本音で語り、お互いを大切にできるような友人を一人でもつくれると、一生の宝になります。ぜひ、そのような友人を一人でも多くつくれるようにして欲しいと願います。

■仲間とともに学ぶことの楽しさ（音楽）

3年生の音楽の授業では、ギター演奏について学んでいます。今日は、演奏テストを行うので、授業の最初に各自で練習を行い、その後にテストに臨んでいました。多感なこの時期に多様な音楽や楽器に触れ、心豊かな人に育って欲しいと思います。（2月2日）



2年生の音楽では、卒業式で合唱をするために、男子と女子のパートに分かれて練習をしていました。その歌声は廊下まで響きわたり、日ごとに完成度を高めています。卒業式では、18人の心を一つにし、最高の歌声を先輩方に送れるように期待しています。（1月11日）



■私立高校・公立推薦・特色選抜が始まります

2月に入り、本格的な受験（受検）シーズンがやってきました。10日は兵庫県を含む近畿圏内の私立高校の入試、15日は公立高校の推薦・特色・多部制1期の入試が行われます。そして、各入試の数日後にはそれぞれの発表があり、3月には公立高校の一般入試へと進んでいきます。3年生にとっては、めまぐるしく時間が流れていく中で、「手洗い」「うがい」「バランスのいい食事」という基本的な健康管理を今一度徹底してもらいたいと思います。また、今までに学習を積み上げてきたことに自信を持って、当日は落ち着いて受験（受検）できるように心を整えていきましょう。努力は人を裏切りません。必ず良い結果を勝ち取ることができると信じています。

■スクリレの登録はお済みでしょうか？

12月よりスクリレを運用しています。スマートフォンで欠席連絡を伝えたり、学校からのおたよりや緊急連絡を受信したりすることができます。できるだけ多くの皆さまに登録していただき、校務のデジタル化を推進したいと考えていますので、未登録の方はこの機会にぜひ登録をお願いします。登録用紙を紛失した場合は再発行させていただきますので、遠慮なく担任までご連絡願います。